

麻疹情報(その2)

2007年4月上旬から、横浜市でも定点医療機関での麻疹患者の報告が続いています。幼稚園、中学校、高校、大学、専門学校で休校等が、また、高校や大学では集団発生もみられています。

麻疹(成人麻疹を除く)の流行状況については、全国で約3000か所、横浜市では84か所の小児科診療を行っている指定届出医療機関(小児科定点)からの報告により、把握しています。

成人麻疹(15歳以上)の流行状況については、全国で約450か所、横浜市では3か所の基幹定点(内科と小児科を持つ300床以上の病院)からの報告により把握しています。

小児科定点および基幹定点からの患者報告は、月曜日から日曜日までの1週間ごとに行われており、1週間単位での集計結果を、ホームページ等で、公表しています。

各区分の情報は「横浜市感染症発生動向調査週報一覧 (横浜市衛生研究所)

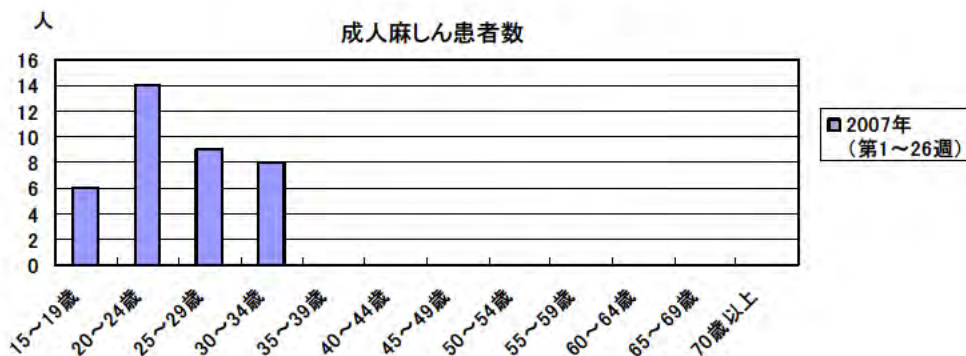
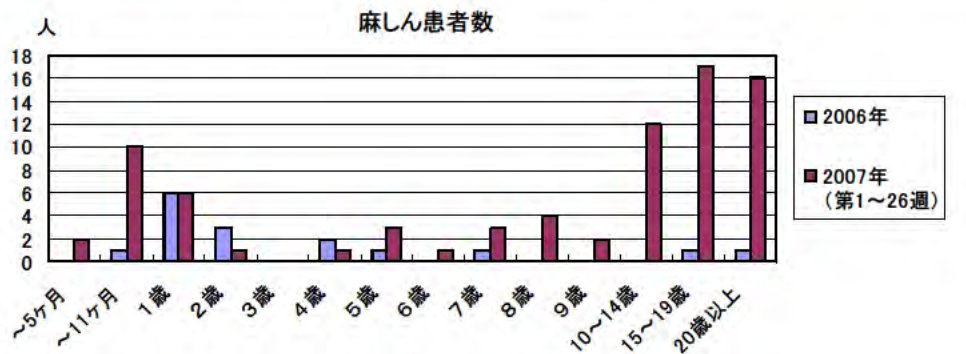
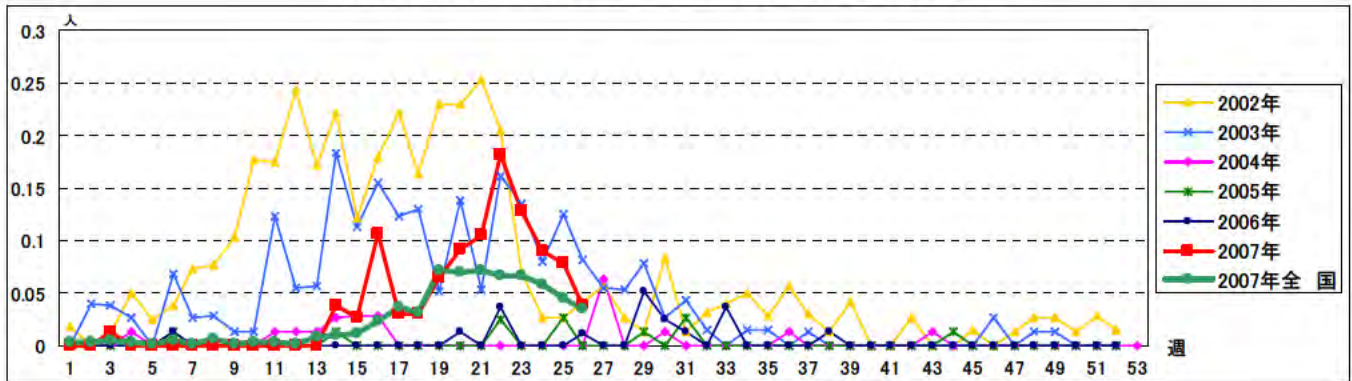
(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/topic_inf/kansen_khama.html)」をご覧ください。

<感染症発生動向調査による患者報告数>

横浜市の麻疹定点当たりの患者数の推移、麻疹、成人麻疹患者数をグラフに示しました。

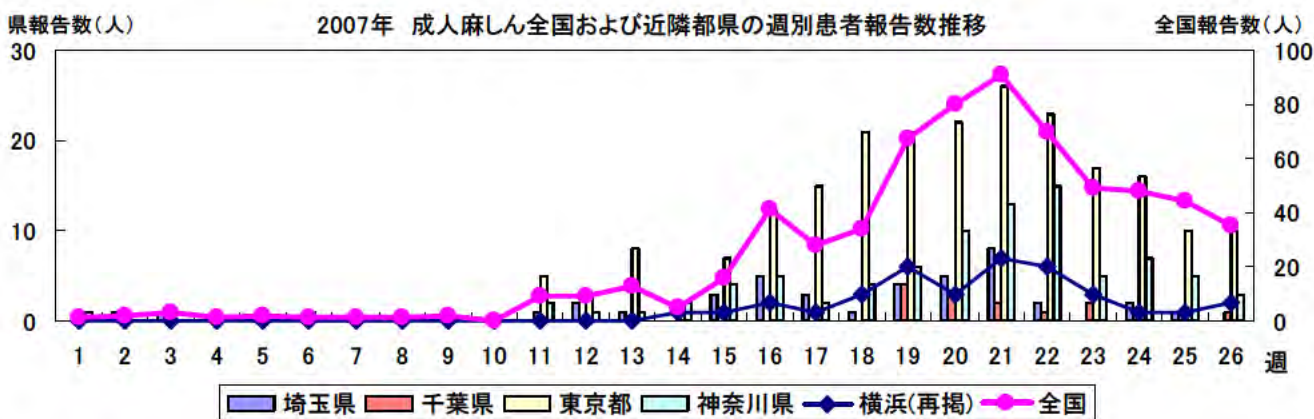
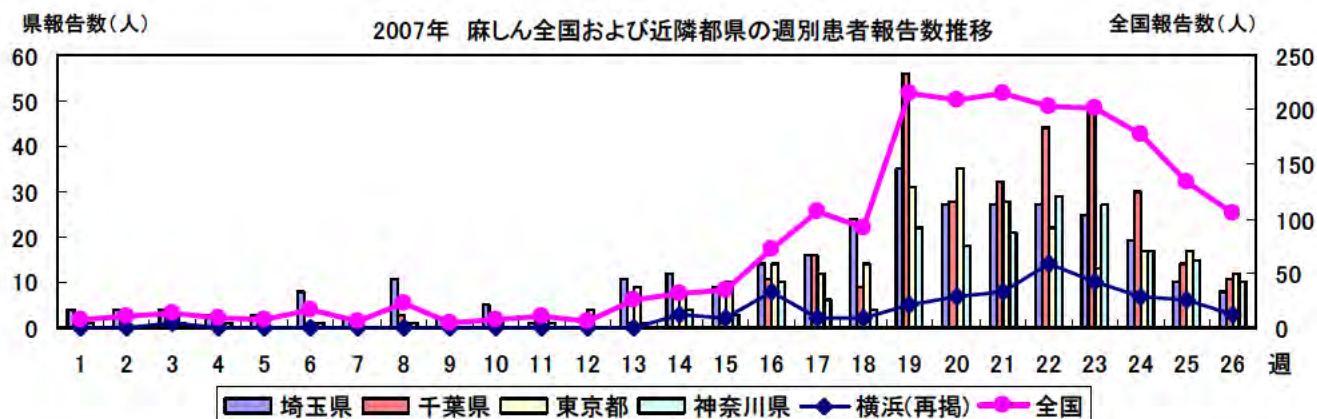
麻疹は第14週から報告が続き、2007年の累計報告数は78と、2006年の年間報告数16の4.9倍になりました。成人麻疹は2007年の累計報告数は37です。なお、2006年は成人麻疹の患者報告はありませんでした。

横浜市および全国の麻疹定点当たりの患者数の推移



<近隣都県の週別患者報告数>

麻しんおよび成人麻しんの全国、近隣都県の週別患者報告数をグラフに示しました。
麻しんは、全数報告ではなく、定点からの報告のため、実際の発生数は、もっと多い可能性があります。



<横浜市内における麻しん患者施設別発生状況>

2007年7月6日現在、6月28日から発生状況の報告はなく、横浜市内の麻しん患者が発生した施設数は計121か所で、患者数は計279人となっています。施設数では高等学校が38か所(31.4%)、患者数では大学が88人(31.5%)と多くなっています。

